

ご挨拶

木々の緑が目にも色鮮やかに映る季節となりました。皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。

大学のある小金井市の名の由来は「黄金（こがね）の水が湧き出る井戸」との説があるのはご存知と思います。国分寺崖線下には貫井神社があり、大きな岩の間から出ている湧水はこれまで枯渇したことがないとのことですが、今は飲料水としては適していません。先日、NHK「おはよう日本」で小金井の「黄金の水」が紹介されました。武蔵小金井駅から徒歩5分程の六地蔵境内に地下100mの井戸が平成16年に掘られ、水道栓を500円で買うと容器に水を入れて持ち帰ることができます。プッシュ式水道栓の蛇口もありますので、コップを持って行けば無料で飲むことも

できます。大学に勤務していても「黄金の水」が飲める場所があるのは知りませんでしたので行ってきました。中硬水のおいしい水でした。

周りを見直すと「六地蔵の黄金の水」のような良い所が皆様のお近くにもあるのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症がまだ収束していませんので、もうしばらくは我慢が必要です。このような折、お近くの良い所を見出す機会とするのも良いかと思えます。

コロナ禍が早く終わることを祈ります。皆様、どうぞ十分ご自愛ください。

辟雍会会長 長谷川 正



コロナ禍で変わった住まいへの意識と住まいの学習

新型コロナウイルスの感染拡大により、自宅で過ごす時間が長くなった方が多いのではないのでしょうか。「新しい生活様式」「おうち時間」「巣ごもり生活」などの言葉も生まれました。私の専門は住居学であり、家庭科教室で住まいや住まい方についての授業を担当しています。ここでは、コロナ禍で過ごす時間が長くなった“住まい”に関する大学の授業の様子をご紹介します。



小規模な、登壇人物の住み、を模倣して平面図を描く練習



教室内に6畳の空間を作り、広さのイメージを共有しています

緊急事態宣言の発令により、令和2年度は遠隔授業となりました。この期間、課題や授業感想に「これまで一番長く家の中で過ごしている」「長く過ごす住まいをより快適にしたいと思うようになり…」などのコメントがたくさんみられました。家で過ごす時間が長くなったことで、家庭科で扱う“住まい方の工夫”を学ぶ必要性に気付いた学生も多かったようです（私自身もこの時期は自宅のダイニングで授業動画を作成しながら、作業に適した椅子や机、照明など作業環境を整えることの必要性を痛感していました…）。なお、遠隔授業期間は慣れないことが多く

とても大変ではあったのですが、住まいを扱っている私の授業では、自宅でスペースや段差を計測したり、収納計画を見直したりと、普段実際に暮らしている場所を教材とすることができ、住まいを徹底的に見つめ実践的に学ぶ期間になりました。

コロナ禍で大きく変わったこととして換気への意識も挙げられます。換気は小学校家庭科で学習する内容の一つであり、これまでも授業では取り上げてきましたが、感染対策として換気的重要性が指摘され、CO₂の計測なども身近になったことで、受講生の関心の高まりを感じます。さらに、住まいの平面計画の課題でも、オンライン授業の受講やテレワークスペースを考えたり、手洗い場までの動線を工夫したプランがみられ、社会情勢や生活スタイルの変化が住まいのあり方に大きな影響を及ぼすことを再認識しました。

さて、令和3年度以降、徐々に対面授業に戻り、今年度は感染対策をしながらも概ねコロナ禍前の授業内容・方法を行うことができている。オンライン授業でもなんとか工夫をしながら行ってきたつもりではありましたが、対面授業が再開され、教室内の他の班の様子に感化されグループ内の議論が盛り上がる様子を見たり、体験や感じたことを教室全体で共有したりする場面に合うと、対面で行う授業の面白さを改めて感じます。もう少し落ち着きましたら、以前のようにゼミで建物やショールームの見学をしたり、徒並み散策などをして、実際に訪れることでその広さや迫力、光・風・においなどを感じる体験も復活できればと思っています。

家庭科教室・准教授 萬羽侑子



大学構内でコロナワクチン接種

5月末と6月初旬に東京都のワクチンバスが大学に来、3回目のワクチン接種が行われなかった学生・教職員を対象にワクチン接種が行われました。

News 小中高教員を対象とした理科の指導力向上研修

新指導要領が実施され、探究活動を重視している学校も多いと思います。理科教員高支援センターでは、教員を対象とした理科の実験を中心とした研修を実施しています。理科の観察実験が苦手の小学校教員を対象とした講座もあります。コロナ禍ということで、オンライン研修もあります。夏休みにも開設されますので、興味のある方はHP (<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~ascst/>) をご覧ください。

